



おひめさまのはなし

なまけものの王さまとかしこい王女のお話

ミラ・ローベ 作 佐々木 田鶴子 訳 徳間書店 943-0

ある国にナニモセン五世という王さまがいて、ナマケモノでなんでも家来にやってもらって
いました。むすめはピンパーネツラ王女といい、一日じゅうお城の中を走りまわって、ナマケ
モノではありませんでした。王女は、王さまがお城のことをちっともかまわないので心配して
います。ある日王さまが病気になり、どんどん重くなっていきました。王女は病気のことをね
むらずにいっしょうけんめい考えます。

小さな山神スズナ姫

富安 陽子 作 偕成社 913-0

喜仙峰のいただきにある御殿では、山神の喜仙大巖尊とむすめのスズナ姫がくらしてい
ました。スズナ姫は、スズナ山をおさめる山神になることを夢めています。あと三日でスズナ
姫が三百歳になる日、お父さんにスズナ山がほしいといいました。大巖尊は、一日でスズ
ナ山の林の木の葉を秋の色にそめかえたら、山をプレゼントしようと約束します。

はちかづきひめ 御伽草子より

中井 智子 絵 長谷川 摂子 再話 福音館書店 E-ナ

むかし、こどものないふうふがいて、まいにちかんのんさまに、こどもをさずけてもらえる
ようおねがいしていました。あるばん、かんのんさまがゆめにあらわれ、「こどもができれば
このはちをあたまにかぶせて、けっしてぬがせてはならない」といいました。めをさますと、
まくらもとにおおきなはちがありました。まもなくおんなのこがうまれます。ふたりはかんの
んさまのことばどおりおんなのこにはちをかぶせ、けっしてぬがせませんでした。

ジム・ボタンの機関車大旅行

ミヒヤエル・エンデ 作 上田 真而子 訳 岩波書店 943-E

機関士ルーカスは、機関車エマとフクラム国という島国に住んでいます。ある日、フクラム
国に小包がとどき、中には赤んぼうが入っていました。その子はジムと名づけられ、一人前の
少年になっていきます。そしてジムはルーカスとエマに乗って旅に出て、マンダラ国に着き
ました。二人は、皇帝の娘リーシー姫がさらわれたことを知り、竜の町から救いだすことに
します。

お姫さまのアリの巣たんけん

秋山 あゆ子 作 福音館書店 486-A

むかしあるところに、とても虫がすきなお姫さまがいました。裏庭で遊んでいると、姫ぎみと友だちは、アリが出たり入ったりしている穴が気になりました。そこでその穴を棒でほってみると、中から小さな仙人がとび出してきました。姫ぎみたちは、仙人といっしょにアリの巣たんけんにごかけます。

ほしをもったひめ セルビアのむかしばなし

小沢 さかえ 絵 八百板 洋子 文 福音館書店 E-オ

ふかいもりにかこまれたおしろに、おうさまとカーリーナひめがすんでいました。ひめが18さいになると、おうさまは「カーリーナひめがどこにほしをもっているかいいあてたものに、ひめと、くにはんぶんをゆずる」とおふれをだしました。おふれをやって、ゆうきのあるわかものたちがやってきましたが、だれひとりいいあてることはできません。あるひ、ひつじかいのわかものが、おひめさまにあいたいとおしろにやってきました。

ねむりひめ グリム童話

フェリクス・ホフマン え せた ていじ やく 福音館書店 E-ホ

むかし、あるくにおきさきがおんなのこをうんだので、おうさまはおいわいのえんかいをひらきました。えんかいには、うらないおんなたちまでまねかれます。うらないおんなはくんに13にんいましたが、きんのさらが12まいしかなかったので、ひとりだけよばれませんでした。えんかいのおしまい、11にんのうらないおんなたちが、こどもにおくりものをさずけおわったとき、よばれなかった13ばんめのうらないおんながはいってきました。